

トムス クラウン リヤバンパーディフューザー

このたびはトムス リヤバンパーディフューザー(以下ディフューザー)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。
本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。(2018年12月)

トヨタ クラウン ARS220 平成30年6月～トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。トムスパレルマフラーNo17400-TAS2#との同時装着が必要です。

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

- 1.ディフューザー取り付け作業は、必ず作業員2名で行ってください。
- 2.ディフューザー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。
また、走行前にゆりみがないかチェックしてください。
ディフューザーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
- 3.車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
- 4.塗装に際しては以下の点にご注意ください。
(詳しくは「リヤバンパーディフューザー素地品の塗装手順」を参照の事)
ボディコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコールなどで拭き取り除去してください。
- 5.両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼付けを行ってください。
- 6.両面テープの接着力防止のため、本製品の装着直後(24時間以内を目安)の洗車は行わないでください。
両面テープの貼り直しをすると接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
- 7.純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
- 8.リヤディフューザー装着により、標準リヤバンパーより、全長約 15mm、地上高約-3.5mm低くなります。
- 9.本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
- 10.塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

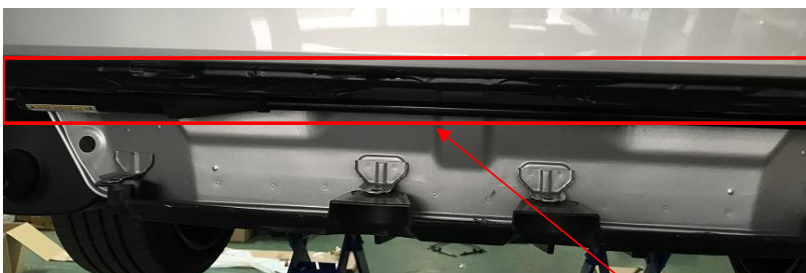
構成部品 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

【リヤバンパーディフューザー 構成部品】



- ①リヤバンパーディフューザー x1
- ②パックプライマー x1
- ③両面テープ (2Mx1.2) x1
- ④トラスボルト (M6x20) x2
- ⑤フランジナット (M6) x2
- ⑥平ワッシャー (6.5x20x1.6) x4
- ⑦金アミ (7x14サイズ 60x720) x1
- ⑧カッティングシート(250x50) x4
- ⑨牽引フックキャップ x1

取付要領

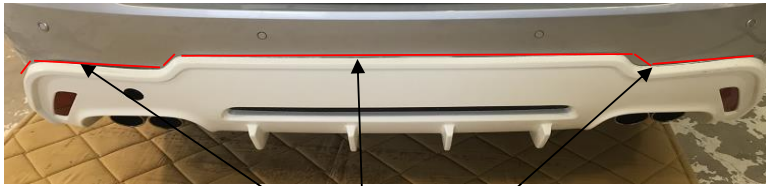


カッティングシート貼り付け部分

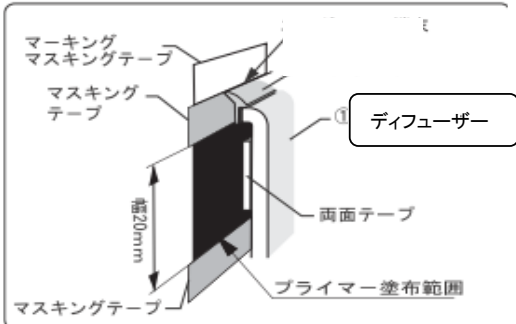
- 1.車両のリヤバンパーを取り外す。
詳細はトヨタ自動車(株)発行「整備要領書」を参考にする。
※リヤバンパーを取り外したビス、クリップ類はリヤバンパーを復元する際に再使用しますので紛失等しないようにしてください。
リヤバンパーからリヤバンパーロアカバーを取り外す
※ロアカバーは再使用しない。
ロアカバーからリフレクターを①ディフューザーに
⑥平ワッシャーを使用して付け替える。
⑦金アミを①ディフューザーに取り付ける(左図参照)
⑧カッティングシートを左図参照に張り付ける。
(※金アミ部分から見える箇所に張り付ける)



2.③両面テープを左図を参照に貼り付ける
(左図参照)
※貼り付け前に脱脂、プライマー塗布作業を
をしてください。



マーキングライン



3.①ディフューザーを車両クリップ、④ボルト、
⑤ナットを使用して仮合わせをする。
両面テープ貼り付け位置をマスキングテープ等
でマーキングをする。
(左図参照)
マーキングが終わったら①ディフューザーを
外し、②バックプライマーを左図参照に塗布
する。

アドバイス!

養生テープ、ガムテープを使用すると作業がしや
すい。

注意!

塗布範囲は、エンドモール端末からのみだしが
ないように気をつけて作業を行う。

注意!

プライマー使用に際しては、3M PACプライマー
K500取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態: 23°Cで10分~3時間ほこり。汚
れ
水滴が付着しないように十分に乾燥させる。
気温15°C以下では、加熱器を使用して温める。
塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーは
アルコール等で拭き取る。



サイドフィン

純正クリップ

純正ボルト

両面テープの圧着は、車両が少しゆれる程度
[49N(5kgf/cm²)]で行なう。



4.①ディフューザーサイドフィンを車両に仮あわせ
をし該当箇所のクリップ2個、純正ボルトを使用
し取り付けをする。

5.①ディフューザーの両面テープ離型紙を50mmほど
剥がして①ディフューザーにマスキングテープで
固定する。

6.純正クリップ、④、⑤ボルト、ナットを使用し車両に
取り付ける。
両面テープが純正バンパーに面当たりしている事
を確認してから両面テープ離型紙を車両中央から
タイヤ側に向けて引き抜きながら圧着をする。
純正クリップ、④、⑤、⑥ボルトナット、ワッシャー
を使用して本締めをする。

注意!

両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するた
め、ボディーにつかないように気をつけて作業をおこなう。



(お問い合わせ先)
株式会社 トムス
TEL: 03-3704-6191
月~金 AM9:00~PM5:00



リヤバンパーディフューザー素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

塗装後のクレームには応じません。

構成部品

- ①リヤバンパーディフューザー x1
- ②バックプライマー x1
- ③両面テープ (2M×t1.2) x1
- ④トラスボルト (M6×20) x2
- ⑤フランジナット (M6) x2
- ⑥平ワッシャー (6.5×20×1.6) x4
- ⑦金アミ (7×14サイズ 60×720) x1
- ⑧カッティングシート(250×50) x4
- ⑨牽引フックキャップ x1

※塗装、作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は40度以下で行うこと。

注意！

本製品はFRP製品のため適切な塗料を使用する。

注意！

40度以上の加熱は製品変形の恐れがある。

